



# 秋厚労ニュース

NO1779号

2017年7月20日

秋田県厚生連労働組合

秋田市山王5-4-2

TEL 018(864)3341

FAX 018(864)3349

# 同期いるから頑張れる

7月15日（土）～16日（日）に秋田芸術村わらび座にて、第36回新入組合員学習と交流のつどいが開かれ、新入組合員120人を含む159人が参加しました。

## 新入組合員学習と交流のつどい



悩んでいるのは自分だけじゃない

グループワークは、2年前から誕生月ごとに行っています。グループ内で自己紹介をし、リーダーなどの役割を決めます。参加した人たちは最初戸惑っていましたが、短時間で打ち解け、あちこちから笑い声が上がっていました。

## 誕生月対抗でビンゴ・アハ体験

入職して感じる「プラス面」「マイナス面」を付箋に書き出し、メンバーと相談しながら内容を整理しました。

夕食の後、青年部主催の交流会がありました。プロレスのテーマ曲にあわせて司会が入場し、周りの人は笑いながら手拍子で盛り上げました。

グループワークは、2年前から誕生月ごとに行っています。グループ内で自己紹介をし、リーダーなどの役割を決めます。参加した人たちは最初戸惑っていましたが、短時間で打ち解け、あちこちから笑い声が上がっていました。

グループワークがひと段落したら、パワーポイントや寸劇を交えた「先輩方からの活動紹介」です。ウィンターフェスタや球技大会が音楽・動画で紹介されると、参加した人はじっと見入っていました。

ゲームは誕生月ごとのグループ対抗戦でした。最初は県内の市町村名を使った「ご当地ビンゴ」。次に青年部自作の「アハ体験」。数十秒かけて徐々に変化する映像を見て、「何が変わったか」を当てます。終わってから支部ごとの2次会で交流を深めました。

その解決策として「言葉の使い方工夫する」「1日1個は覚える姿勢で臨む」「先輩に相談する」等が出されました。クイズ形式や漫才形式で発表するグループもあり、会場を沸かせました。

## クイズ・漫才で会場沸かす

2日目は、グループごとに壁新聞を発表し

発表の後、必ず誰かが感想を言います。「共感した」「まとまっていて見やすい」「ライブ形式で聞き手の心をつかんでいた」等の意見

## 参加した人の感想から（一部）

- ☆ 自分とは違う考え方もあって勉強になった。共感できることも多くあって、みんな同じように悩みながらも頑張っていると感じた
- ☆ 悩みや辛いことを共有し、「自分だけじゃない」と感じた。みんな頑張っていて、自分も頑張ろうと思った
- ☆ 悩んでいるのは自分だけではないのだと改めて感じる事ができ、前向きな気持ちになった



が出されました。

最後にスライドショーで2日間を振り返り、解散しました。名残惜しそうに残ってグループのメンバーと話す人たちもいました。